

CASBEE® 名古屋

■ 評価結果 ■

■使用評価マニュアル: CASBEE-施設・設備[2016年版、名古屋大学環境学研究所環境学研究室] | 使用評価ソフト: CASBEE Nagoya 2016(v1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)エステムコート中村区名駅南三丁目 新築工事	階数	地上13F
建設地	名古屋市市中村区名駅南三丁目1106番	構造	RC造
用途地域	防火地域	平均居住人員	312 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年9月 予定	評価の実施日	2025年7月24日
敷地面積	786 m ²	作成者	
建築面積	456 m ²	確認日	2025年1月17日
延床面積	5,044 m ²	確認者	

外観パース等

図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9

★ ★ ★ ★ ★ A: ★ ★ ★ ★ ★ B+: ★ ★ ★ ★ B: ★ ★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂温暖化影響チャート

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆☆ 100%超: ☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

項目	スコア
音環境	3.2
温熱環境	2.7
光・視環境	2.4
空気質環境	3.7
平均	3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9

項目	スコア
機能性	3.1
耐用性・信頼性	2.7
対応性・更新性	2.6
平均	2.9

Q3 室外環境（敷地内）

Q3のスコア= 2.1

項目	スコア
生物環境	1.0
まちなみ・景観	3.0
地域性・アメニティ	2.0
平均	2.1

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.7

項目	スコア
建物外皮の熱負荷	3.0
自然エネルギー	2.0
設備システム効率化	4.6
効率的運用	3.0
平均	3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

項目	スコア
水資源保護	3.0
非再生材料の使用削減	2.9
汚染物質回避	3.6
平均	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.6

項目	スコア
地球温暖化への配慮	3.0
地域環境への配慮	1.8
周辺環境への配慮	3.0
平均	2.6

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
住宅供給を長期に渡り供給することを第一に考えた。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境（敷地内）
T-1性能のアルミサッシの採用による室内環境のUPに努めた。	インターネットを光対応による高速通信。	周辺環境に合わせた外観計画とした。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
一次エネルギー消費率 95%	F☆☆☆☆の材料の使用に努めた。	建物利用者に対し適切な駐輪台数の確保を行なった。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、LR1、LR2中の建築物の寿命、エネルギー、資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

重点項目スコア・結果シート

(仮称)エステムコート中村区名駅南三丁目 新築工事

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル

■評価ソフト:

CASBEE_Nagoya_2016(v1.0)

重点項目		評価	全体に対する 重み係数	重点項目 スコア
1. 温暖化対策				3.3
LR1	エネルギー	3.7	0.4	
LR3.1	地球温暖化への配慮	3.0	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	1.0	0.05	
2. 自然共生				1.3
Q3.1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09	
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	無	0.009	
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	2.0	0.045	
3. 循環型社会				2.9
LR2.1	水資源保護	3.0	0.06	
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	2.9	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	2.5	0.016666667	

結果

1. 温暖化対策

評価点 = 3.3



2. 自然共生

評価点 = 1.3



3. 循環型社会

評価点 = 2.9



重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。